



CONTENTS

- 2 病院長挨拶
- 3 地域連携室からのお知らせ
- 4-5 回復期リハビリテーション病棟・リハビリテーション科の案内
- 6 栄養科の案内
- 7 医療法人悠紀会のお知らせ

基本理念 皆さまの健康で豊かな生活を支えるために、信頼される真心のサービスを提供します。

- 基本方針**
- 1、社会的役割・・・信頼される医療サービスを提供し、地域住民の健康で豊かな生活に貢献します。
 - 2、利用者さまの尊厳と権利の尊重・・・利用される方々の尊厳と権利を尊重した医療サービスを提供します。
 - 3、快適な環境・・・希望をもって豊かな生活を送ることができる環境づくりをめざします。
 - 4、チーム医療・・・全人的・総合的最善の医療サービスを提供する為に「チーム医療」を実践します。
 - 5、豊かな専門性・・・スタッフの人格形成はもとより、高度な専門知識の習得や技術の向上に努めます。

「更なる地域医療の 発展に向けて」

悠紀会病院 院長 古森 顕一



春陽の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

世界中に広がりを見せている新型コロナウイルス感染症への不安の中、いま改めて健康の大切さを感じさせられるこの頃です。

さて、我が国の医療を取り巻く環境変化の中で直面する課題は、医療ニーズの変化と医療サービスの担い手減少という問題です。こうした課題への対応に向け、厚生労働省は2025年に向けて地域の医療ニーズに即した効率的な医療機能の確保に向けた「地域医療構想」の取り組みを進めています。しかし、ここ玉名地域においては、既に高齢化率の上昇と人口減少は全国平均よりも進んでおり、さらに公立玉名中央病院と玉名地域保健医療センターの統合により、当院における慢性期医療の重要性が増してきています。今後の玉名地域の医療ニーズと当院における医療資源を考慮すると自ずと限界が見えてくることとなります。その対応策としては、「寝たきりの患者様」や「要介護高齢者」をいかに減らしていけるかということにかかってくると思います。そのためには、急性期の段階から十分な介護ケアを見据え、集中的な機能を目的としたフェーズに移行し、早期の在宅生活への復帰を目指した医療介護提供体制を構築すべきです。当院では、今後も急性期治療後の患者様の早期の受け入れを行い、更なる回復期リハビリテーション機能の充実を進め、在宅医療の推進を図りたいと考えております。

来年はくまもと県北病院の開院が予定されていますが、また新たな病病連携、病診連携をさらに深めて地域包括ケアシステムの実現に向かって参ります。



地域連携室からのお知らせ

～特集～ 介護医療院ゆうきの里について

2019年4月1日に開設した介護医療院は、これまでの介護療養型医療施設111床のうち54床を転換し、名称も介護医療院ゆうきの里になりました。

『介護医療院の成り立ち』

わが国では医療費の膨大を防ぐために医療費抑制政策を展開してきました。その一環として、国会では介護療養型医療施設を廃止する議論がなされてきました。2017年の介護保険法改正により廃止は2023年度末までと決定されました。しかしながら、その方々の行き場として医療的な対応などを必要とする方々の住まいを確保することが重要視されてきました。そこで、地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律により、2018年4月から「介護医療院」が誕生しました。介護医療院は、今後増加が見込まれる慢性期の医療・介護ニーズへの対応のため、「日常的な医学管理が必要な重介護者」の受入れや「看取り・ターミナル」等の機能と、「生活施設」としての機能を兼ね備えた施設としての役割を担うことになりました。

『どういった方が利用できるの？』

利用される方は、「日常的な医学管理が必要な重介護者」や「看取り、ターミナルケアを中心とした長期療養」が必要な方が大半を占めています。具体的には下記の表に該当する方々です。

状態像	「重篤な身体疾患を有する者」 「身体合併症を有する認知症高齢者」 例) 呼吸疾患、心疾患、重度の認知症の方など
医療処置	喀痰吸引、経管栄養、 インスリン注射が必要な方
ターミナル	ターミナルケアを受けている患者 例) がん疾患、意識障害など

「生活環境の充実化」

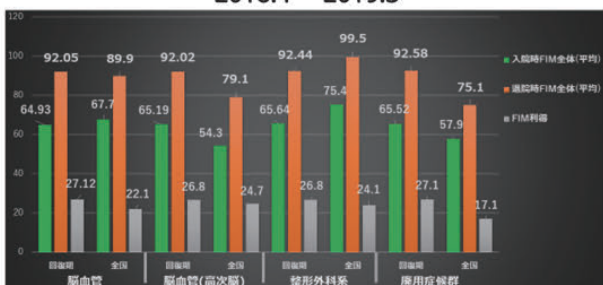
介護医療院の開設にあたり快適な生活環境を整えました。入所者のプライバシーの保護やターミナル期を迎えた入所者の家族がゆっくり過ごすことができる個室を設けました。また、快適な入浴ができるよう機械浴も導入しました。



介護医療院についてのお問い合わせについては下記にご連絡ください。
【問い合わせ先】悠紀会病院 地域連携室 TEL:0968-74-1131

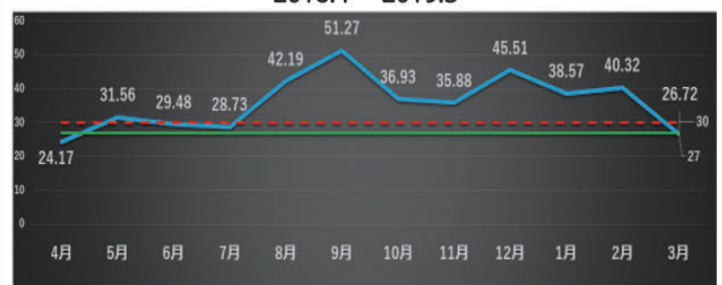
悠紀会病院の診療実績（回復期リハビリテーション病棟）

原因疾患別(脳血管系・整形外科系)にみたFIM 2018.4～2019.3



実績指数

2018.4～2019.3





回復期リハビリテーション病棟



急性期治療を終えた患者様を早期に受け入れる体制をとっています。入院後は多職種が関わり、怪我や病気をされる前までの状態に近づけることができるよう365日のケアとリハビリを行っています。

【食事・栄養支援：リハビリは食事から】

低栄養や嚥下障害を改善し、運動との「両輪」で心身機能の改善に取り組みます。

安全に食べられる
可能性を模索します



飲み込みが
良くなるよう
嚥下体操を
毎日行います



正しく道具が
使用できるよう
食事動作を
練習します



【患者様に合わせた生活支援】

「生活の場」である病棟内で、在宅等での生活を想定し、病棟職員・リハビリ職員一丸となって支援します。

様々な道具を使用し
できないことを
できるように
自分でできる喜びを
共有します



排泄支援で
自立心を高めます
自宅退院を目指し
排泄練習を
行います



「肩までゆっくり
つかりたい」
安全な入浴方法を
習得します



【機能的なリハビリテーション】

専門職種（言語聴覚士・理学療法士・作業療法士）による集中的なリハビリテーションを提供します。



運動や
装具作成により
最適な歩行手段を
支援します



麻痺した手の
機能回復を
目指します

【家屋調査（入院時・退院前自宅訪問）】

ご自宅の状況を把握することで、退院に向けて支援すること（手すりの取り付け・福祉用具のレンタル等）、入院中に支援できること（必要なリハビリ）を再確認します。



病院でのリハビリが
有効か判定します

改修工事の
必要性を
検討します



退院後
安全に動けるか
自宅で確認します



【在宅復帰・社会復帰支援】

自宅内での役割の再獲得を支援。職場復帰に必要な課題の克服に取り組みます。



調理訓練
家族のために
できること…
楽しみ・生きがい



職場への
同行訪問から
業務に必要な工程の
反復訓練などを
実施します

栄養管理科

回復期リハビリテーション病棟の
栄養管理を担当しています！！

《当院栄養士の仕事内容》

- ①カンファレンスへの参加
入院時カンファレンスや家族参加のカンファレンスなどに積極的に参加しています。
- ②栄養スクリーニング・アセスメント
入院時に栄養状態の評価を行っています。また、全患者様の栄養スクリーニングを2週間毎に行っており、きめ細かい栄養管理を実施しています。
- ③ミールラウンド
摂取量・摂取状況を把握しながら、提供食事量や食事形態の検討を随時行っています。
- ④栄養指導・栄養相談
栄養相談や栄養指導を行っています。
- ⑤給食管理
季節に応じた料理を心がけており、年間25回以上の行事食を実施しています。



ベッドサイドへ行き、直接自分の目で浮腫の有無や、スキンコンディションを確認しています。

患者様の状態をこまめにチェックしながら、主治医をはじめとした各スタッフに栄養プランを提示し、質の向上に努めています。



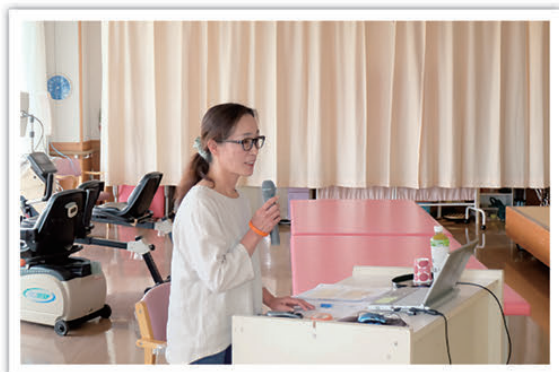
・医療法人悠紀会からのお知らせ・

お知らせ

認知症サポーター養成講座の開催予定

毎年、新入職員をはじめ地域の方々まで幅広く参加をいただいています。これまで多数のサポーターを養成しており、講師はキャラバン・メイトの資格をもつ職員が務めます。

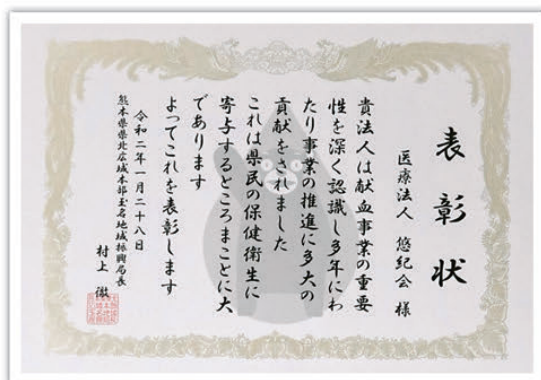
今年も、5月に講座を開催する予定です。



表彰されました

献血表彰

令和元年度有明地区献血推進協力団体等玉名地域振興局長表彰をいただきました。これは、10年以上献血推進を行っている団体等に贈られる賞で、毎年職員はもちろん地域の皆様等にご協力いただいています。



職員の活動報告

バスケットボールサークル設立

今年度よりスタッフ間の交流、健康維持促進を目的としサークルを設立しました。

以前より、月2回ほど活動を行っていましたが、より多くのスタッフとの交流や、他施設との交流などにも力を入れていきたいと考えています。



外来診療担当医表

診療時間【午前9:00～午前12:00(受付午前11:30まで)、午後1:30～午後5:00(受付午後4:30まで)】

診療科	月	火	水	木	金
内科			松村 利昭	高木 昭宏	
リハビリテーション科	紫藤 忠博	高木 和男	古森 顕一	紫藤 忠博	古森 顕一
循環器内科					

診療科

●内科 ●リハビリテーション科 ●循環器内科 ●歯科(予約制)

相談、その他

● 外来・訪問リハビリテーション相談 ● 摂食嚥下相談

病棟構成

入院病床数 139床

回復期リハビリテーション病棟	32床
医療療養病棟	50床
介護療養型医療施設	57床

診療設備

マルチスライスCT撮影装置
 X線テレビ装置
 一般用X線装置
 PACS(医用画像管理システム)
 超音波診断装置
 心電図モニター
 生化学自動分析装置

関連事業所

- ◆訪問リハビリテーション 悠紀会病院
- ◆介護医療院 ゆうきの里
- ◆介護老人保健施設 ゆうきの里
 ゆうきの里 通所リハビリテーション
 介護相談センター ゆうきの里(居宅介護支援)
- ◆グループホーム ゆうきの家
- ◆小規模多機能ホーム ライフサポートいわさき
- ◆小規模多機能ホーム しいの木の里(山鹿市)
- ◆社会福祉法人ゆうき会
 特別養護老人ホーム ケアタウン光の森(菊陽町)

アクセス



〒865-0011
 熊本県玉名市上小田1063番地
 TEL 0968-74-1131 FAX 0968-74-3821
 ホームページ <http://www.yukikai.or.jp>



各種相談については、地域連携室へお尋ねください。

TEL 0968-74-1131

※お電話による問い合わせは、月曜日～金曜日の午前9時～午後5時までとなっております。